

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
- お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認ください。大切に保管してください。
- ※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされるところ(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

- 電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

- 1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
- その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。
 - (イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
 - (ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
 - (ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換
 - (ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
 - (ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
 - (ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
 - (ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくはは重大な過失による故障または破損
 - (チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
 - (リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
 - (ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
 - (ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
 - (ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または破損
 - (ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
 - (カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
 - (コ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
 - (ク)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
 - (ケ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
 - (セ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
 - (ソ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損
- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

Region アジャスタブルカウンター

カウンター

基本セット

IRG-D□□04(M・G・H)(K・T)(M・H)

増連セット

IRG-J□□04(M・G・H)(K・T)(M・H)

アジャスト用天板
幕板

基本セット用

IRGA-T0□0□(L・R)

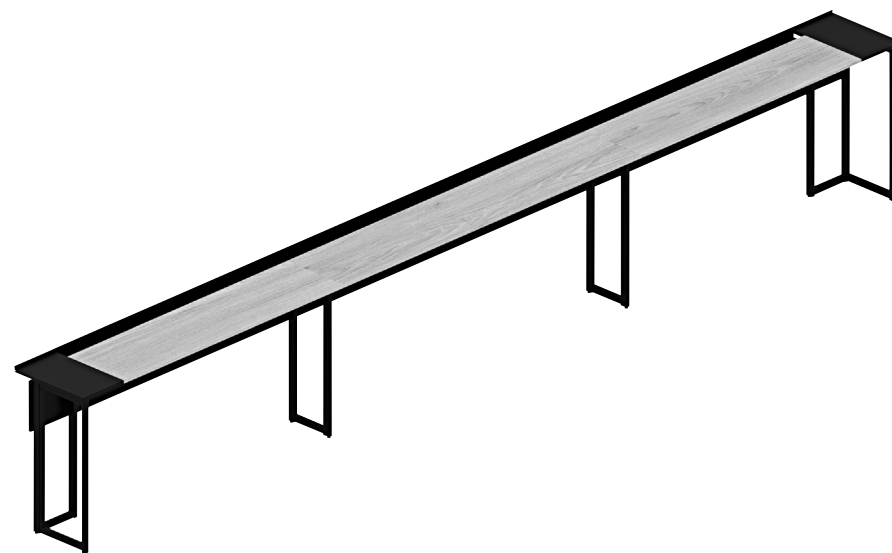
増連セット用

IRGP-D□□03

アジャスト用

IRGP-J□□03

LTP-RGA33



もくじ

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

- 1.安全上のご注意 1
- 2.末永くご使用いただくためのご注意 4
- 3.使いかた 5
- 4.お手入れのしかた 11
- 5.部品の交換について 11
- 6.仕様 12
- 7.組み立てかた 15

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

ホームページURL <https://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談は

お客様相談室

kokuyo.jp/soudan/



1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

- お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。
組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によるけがの原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- 増連の最大連結数は4連、最大連結長は7170mmです。最大連結数以下でも7170mmを超えないでください。また、7170mm以下でも5連以上にしないでください。
転倒によるけがや破損のおそれがあります。
- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
 - ・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。
 - ・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。
けがや故障・破損の原因になります。
- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。
やけどや火災の原因になります。
- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。
転倒によるけがの原因になります。

- 製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。
転倒によるけが・破損の原因になります。
- 設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。
傾いた状態で設置すると、本体が倒れやすくなり、けがをするおそれがあります。
- 本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、必ず2人以上で転倒しないように注意して行ってください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)
転倒や破損により、けがをする原因になります。
- 製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかけたり、ぶら下がったりしないでください。(特にお子様にご注意ください。)
転倒や転落により、けがをする原因になります。
- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。
転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。

- のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。
ものが落下して、けがをするおそれがあります。
- 可動部のすき間に手や指を入れないでください。
けがの原因になります。
- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)
けがの原因になります。
- 天板、配線トレーの耐荷重(下表の数値)を超えて、ものをのせないでください。
全面に均等にのせた場合の耐荷重

天板 ※天板1枚当たり	294N [約30kgf]
配線トレー (D560タイプ) ※1セット当たり	147N [約15kgf]
配線ダクト	49N [約5kgf]
アジャスト用天板	98N [約10kgf]

天板や配線トレーがたわんでもものが落下したり、本体の転倒や破損により、けがをする原因になります。
- 専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。
落下によるけがや破損の原因になります。
- 配線カバーやこぼれ止めに、かばんなどを引っ掛けないでください。
落下によるけがや破損の原因になります。
- 移設するときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。
のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。

1.安全上のご注意

- **移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。**
引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。
- **配線している製品を移設するときは、すべての配線を外し、コード類を傷つけないように注意して行ってください。**
コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。
- **可動部に注油しないでください。**
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- **製品の分解や改造はしないでください。**
けがや故障の原因になります。
- **ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。
- **製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**
誤った使いかたや事故を防止するためのもです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。
- **溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**
そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- **この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

2.末永くご使用いただくためのご注意

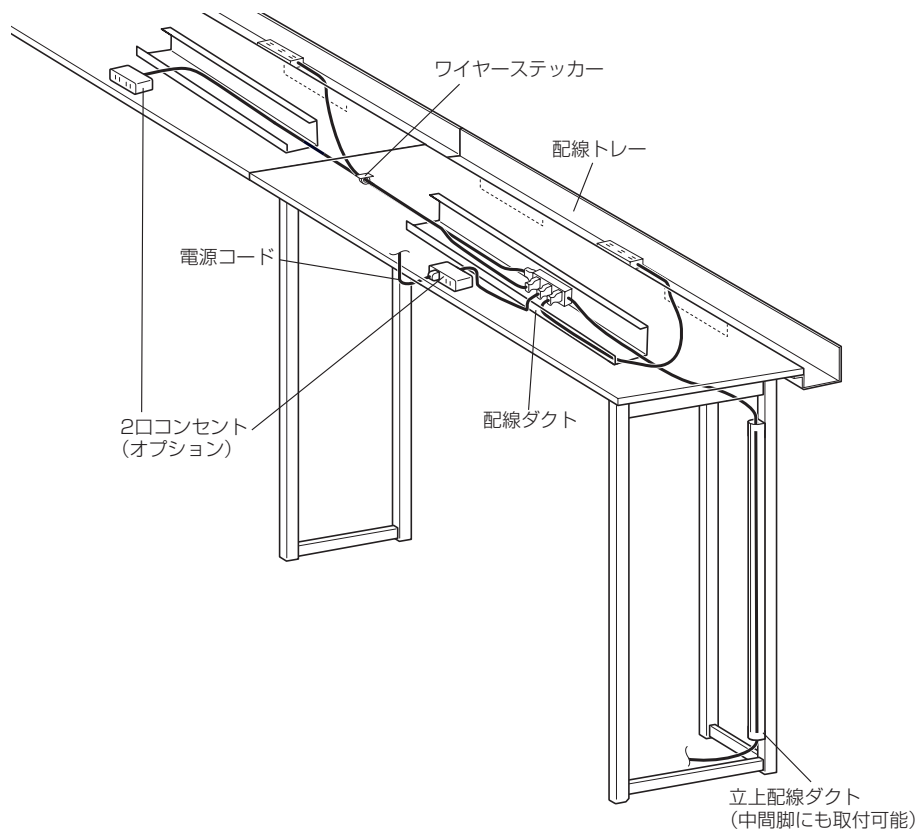
- この製品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障・さび・そり・変色・目割れの原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
変色・変形・そり・目割れなどの原因になります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。
表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- セロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼り付けしないでください。
表面材がはがれる原因になります。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。
表面を傷つけるおそれがあります。
- 天板の上で、ボールペンなど先のとがったものを、直接使用しないでください。
表面を傷つけたり、跡が残るおそれがあります。下敷き付きデスクマットの使用をおすすめします。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。
白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
- 塗装面にプラスチックやビニールなどの樹脂製品を長期間放置しないでください。
塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象を起こすことがあります。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3. 使いかた

① 配線のしかた

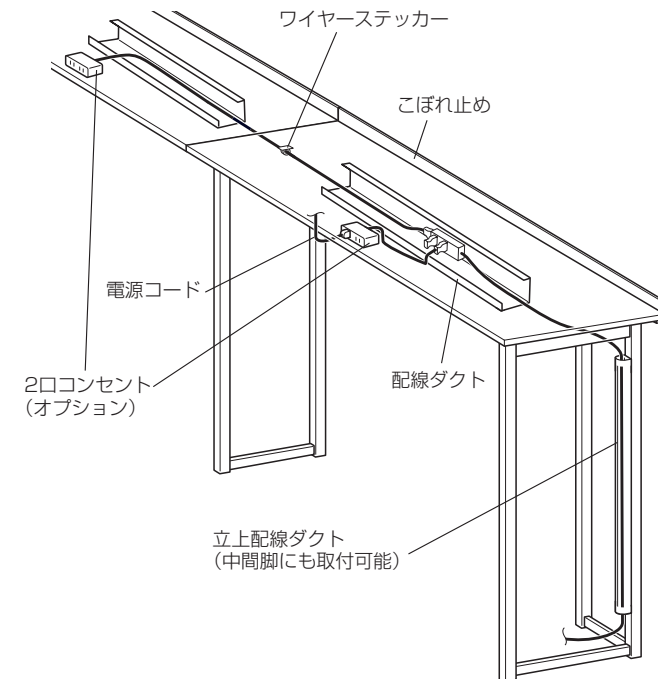
各種コードの配線は、2口コンセント（オプション）・配線ダクト・立上配線ダクト・配線トレイ（D560タイプのカウンターののみ）・OAタップ（別売）などを使って、図のように行ってください。

D560タイプの場合（配線トレイ付き）



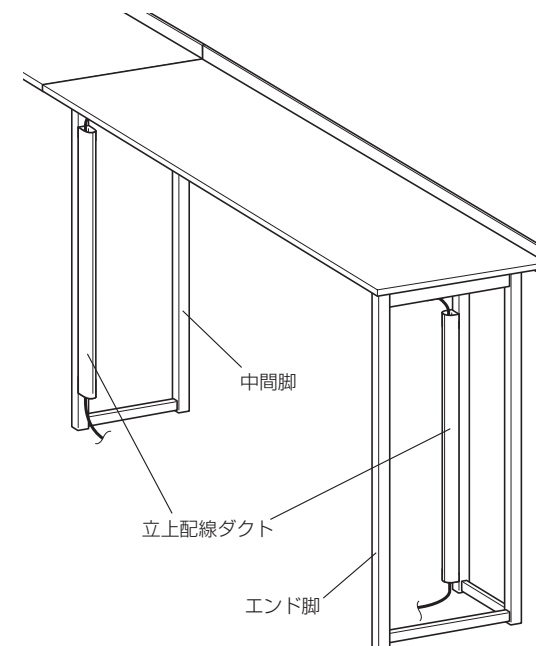
⑤

D450タイプの場合 （こぼれ止め付き）



② 立上配線ダクトの使いかた

各種コードを配線することができます。
エンド脚や中間脚のお好みの位置に取り付けてご使用ください。
※取り付けかたは、立上配線ダクトに同梱の取扱説明書をご覧ください。



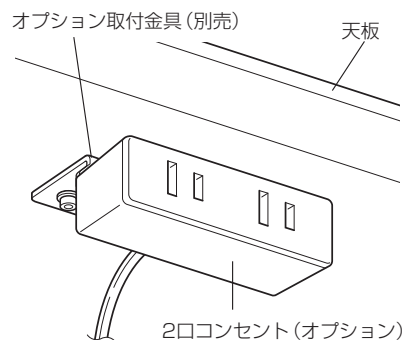
⑥

3. 使いかた

③ 2口コンセント(オプション)について

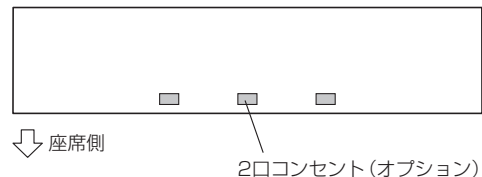
オプション取付金具(別売)を使って、2口コンセントを天板裏面に取り付けることができます。

※取り付けかたは、オプション取付金具に同梱の組立説明書をご覧ください。



〈2口コンセントの取付可能位置〉

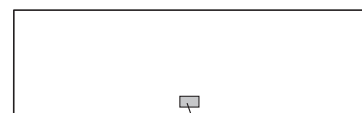
W2400mmの天板



座席側

※取付位置を3カ所から自由にお選びいただけます。

W2400mm以外の天板



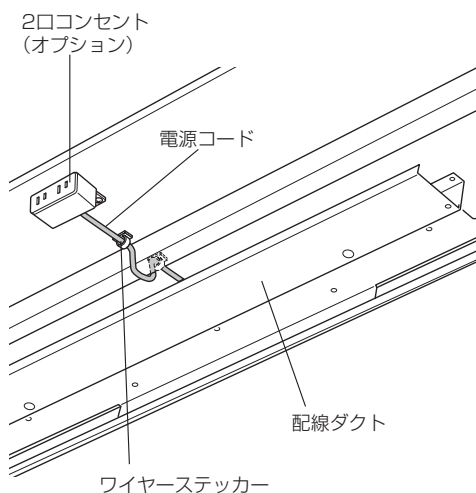
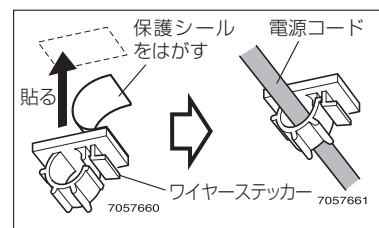
座席側

2口コンセント(オプション)

〈2口コンセントの配線例〉

オプション取付金具(別売)には、ワイヤーステッカー 3個が同梱されています。

ワイヤーステッカーを使って、2口コンセントの電源コードを図のように配線することができます。

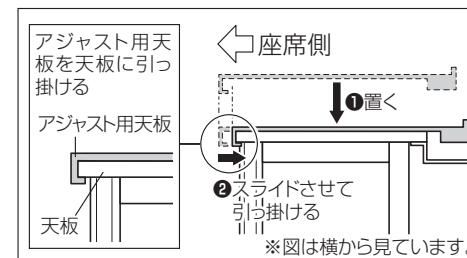


⑦

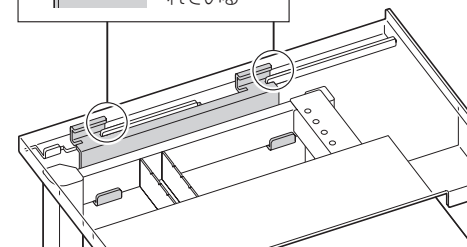
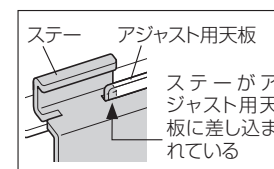
④ アジャスト用天板(オプション)の取り付けかた

※図はLタイプの場合です。Rタイプの場合も左右の区別がありますが、要領は同じです。

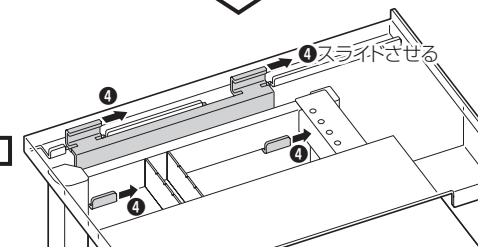
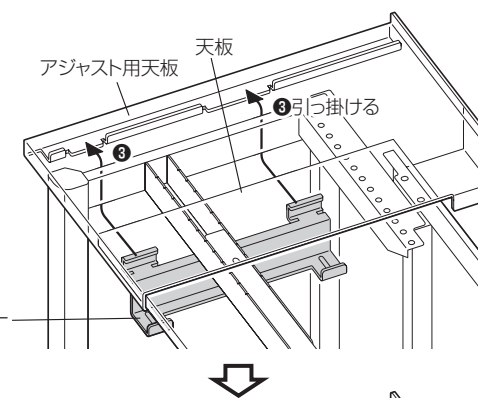
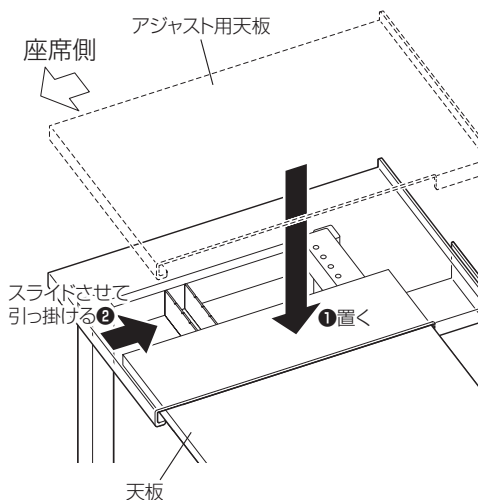
1. 天板の延長部分にアジャスト用天板を図のように置き、天板に引っ掛けてください。



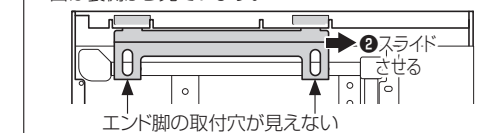
2. 図のように、ステーのスリットをアジャスト用天板に引っ掛け、ステーを座席反対側にスライドさせてアジャスト用天板に差し込んでください。



※図は天板を裏側から見ています。



※図は裏側から見ています。



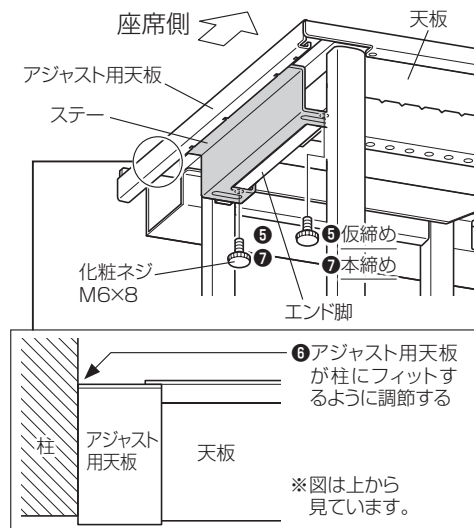
⑧

3.使いかた

- 3.ステーをエンド脚にボルトで仮締めしてください。
- 4.アジャスト用天板が柱にフィットするように調節したら、ボルトを本締めしてください。
- 5.大きなガタツキ、ずれがないことを確認してください。大きなガタツキ、ずれがある場合はボルトを締め付けてください。

〈ずれが大きいとき〉

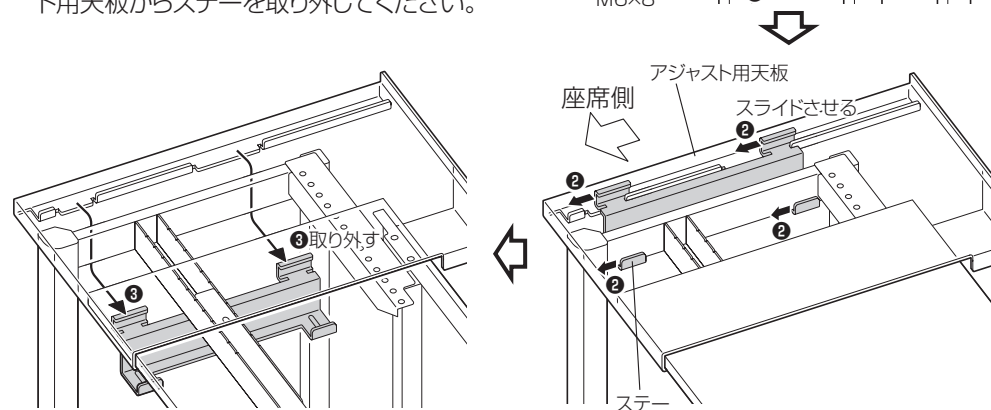
エンド脚が傾いて固定されていることが考えられます。エンド脚とフレーム・天板の固定ボルトを緩めて取付角度を調整してください。



⑤ アジャスト用天板 (オプション) の取り外しかた

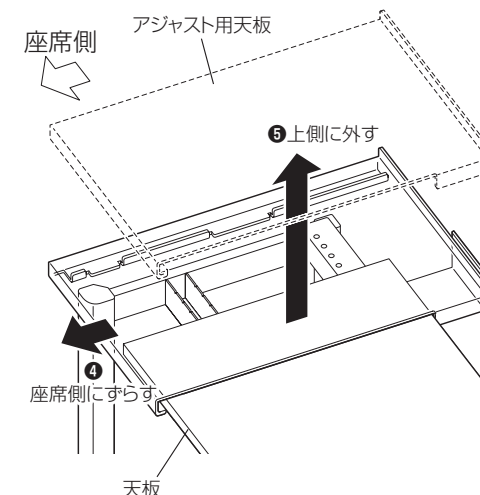
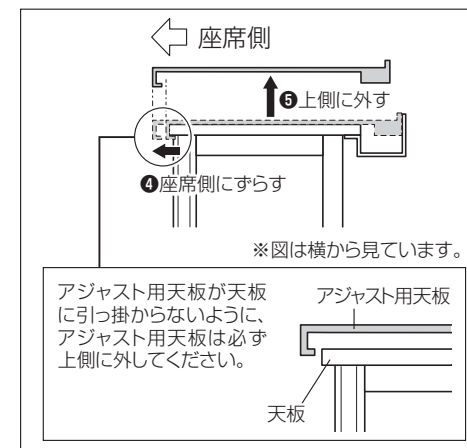
※図はLタイプの場合です。Rタイプの場合も左右の区別がありますが、要領は同じです。

- 1.アジャスト用天板の裏面のボルトを外してください。
- 2.図のようにステーをスライドさせ、アジャスト用天板からステーを取り外してください。



※アジャスト用天板が動かないように注意して行ってください。

- 3.柱を傷つけないように注意しながらアジャスト用天板を座席側にずらし (15mm以上)、アジャスト用天板を上側に持ち上げて外してください。



4.お手入れのしかた

① 金属部の汚れ

日常のお手入れは、繊維の細かい乾いたやわらかい布でから拭きしてください。

② 金属部以外の汚れ

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。

1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■ 消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



5.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△ 注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

6.仕様

Region アジャスタブルカウンター 配線トレイ付タイプ 基本セット

タイプ		ミドルタイプ				
品番 : IRG-		D2404MT	D1804MT	D1704MT	D1504MT	D1204MT
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	720				

タイプ		ミドルハイトタイプ				
品番 : IRG-		D2404GT	D1804GT	D1704GT	D1504GT	D1204GT
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	900				

タイプ		ハイトタイプ				
品番 : IRG-		D2404HT	D1804HT	D1704HT	D1504HT	D1204HT
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	1000				

Region アジャスタブルカウンター こぼれ止め付タイプ 基本セット

タイプ		ミドルタイプ				
品番 : IRG-		D2404MK	D1804MK	D1704MK	D1504MK	D1204MK
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	720				

タイプ		ミドルハイトタイプ				
品番 : IRG-		D2404GK	D1804GK	D1704GK	D1504GK	D1204GK
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	900				

タイプ		ハイトタイプ				
品番 : IRG-		D2404HK	D1804HK	D1704HK	D1504HK	D1204HK
寸法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	1000				

6.仕様

Region アジャスタブルカウンター 配線トレー付タイプ 増連セット

タイプ		ミドルタイプ				
品 番：IRG-		J2404MT	J1804MT	J1704MT	J1504MT	J1204MT
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	720				

タイプ		ミドルハイトタイプ				
品 番：IRG-		J2404GT	J1804GT	J1704GT	J1504GT	J1204GT
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	900				

タイプ		ハイトタイプ				
品 番：IRG-		J2404HT	J1804HT	J1704HT	J1504HT	J1204HT
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	558				
	高さ	1000				

Region アジャスタブルカウンター こぼれ止め付タイプ 増連セット

タイプ		ミドルタイプ				
品 番：IRG-		J2404MK	J1804MK	J1704MK	J1504MK	J1204MK
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	720				

タイプ		ミドルハイトタイプ				
品 番：IRG-		J2404GK	J1804GK	J1704GK	J1504GK	J1204GK
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	900				

タイプ		ハイトタイプ				
品 番：IRG-		J2404HK	J1804HK	J1704HK	J1504HK	J1204HK
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	452				
	高さ	1000				

素材

天板	表面材：メラミン化粧板、エッジ：ABS、芯材：パーティクルボード
配線トレー	スチール、焼付塗装
こぼれ止め	スチール、焼付塗装
脚	スチールパイプ、スチール、焼付塗装
フレーム	スチール角パイプ 50×30、焼付塗装
配線ダクト	スチール、焼付塗装

オプション

品 名		アジャスト用天板			
タイプ		ラージタイプ		スモールタイプ	
		配線トレータイプ用	こぼれ止めタイプ用	配線トレータイプ用	こぼれ止めタイプ用
品 番：IRGA-T		0305(R・L)	0304(R・L)	0105(R・L)	0104(R・L)
寸 法 (mm)	幅	350	350	200	200
	奥行き	556	445	556	445
	高さ	45			
素 材		スチール、焼付塗装			

品 名		幕板				
品 番：IRGP-D		2403	1803	1703	1503	1203
寸 法 (mm)	幅	2390	1790	1690	1490	1190
	奥行き	18				
	高さ	290				
素 材		スチール、焼付塗装				

品 名		アジャスト用幕板
品 番		LTP-RGA33
寸 法 (mm)	幅	345
	奥行き	16
	高さ	285
素 材		スチール、焼付塗装

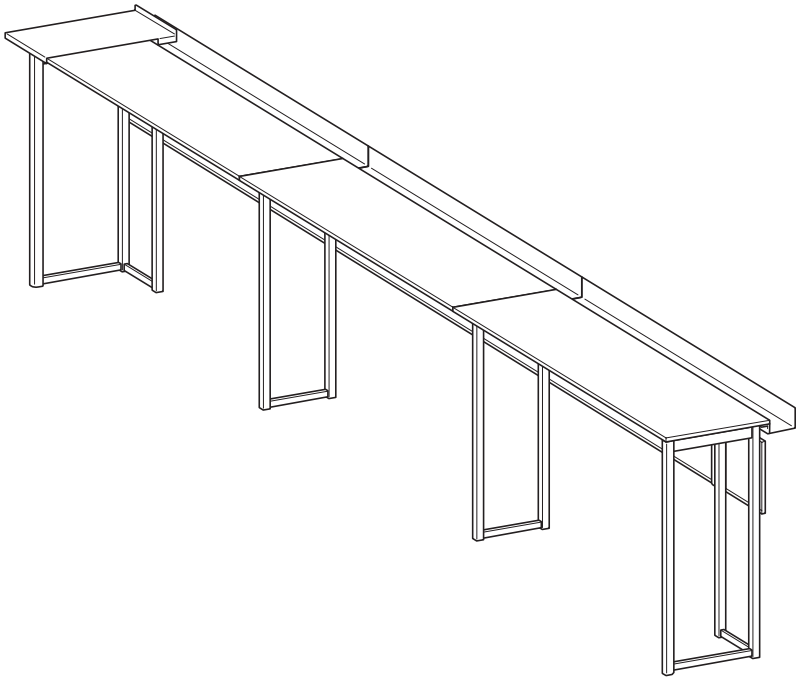
7.組み立てかた

⚠注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や落下によるけがや破損のおそれがあります。

1 完成図

※図はD560タイプの3連のカウンターです。それ以外の場合は、部品の個数、形状など異なる部分はありますが、要領は同じです。



2 使用工具

組み立てる前に、使用工具を確認してください。

工 具 の 種 類
L型六角レンチ (対辺4mm)

3 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

こぼれ止め付タイプ 基本セット

			セ ッ ト 数				
品 番 : IRG-			D1204□K	D1504□K	D1704□K	D1804□K	D2404□K
梱 包 品 番	部 品 の 種 類	個数					
LTT-RG124	天板	1	1	—	—	—	—
LTT-RG154	天板	1	—	1	—	—	—
LTT-RG174	天板	1	—	—	1	—	—
LTT-RG184	天板	1	—	—	—	1	—
LTT-RG244	天板	1	—	—	—	—	1
LTF-RGCO□	エンド脚(R)	1	1	1	1	1	1
	エンド脚(L)	1					
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
	六角穴付平頭ボルト M6×65	4					
	穴ふさぎキャップ	8					
LTL-RGCO12	フレーム	1	1	—	—	—	—
LTL-RGCO15	フレーム	1	—	1	—	—	—
LTL-RGCO17	フレーム	1	—	—	1	—	—
LTL-RGCO18	フレーム	1	—	—	—	1	—
LTL-RGCO24	フレーム	1	—	—	—	—	1
LTC-RG124	こぼれ止め	1	1	—	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG154	こぼれ止め	1	—	1	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG174	こぼれ止め	1	—	—	1	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG184	こぼれ止め	1	—	—	—	1	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG244	こぼれ止め	1	—	—	—	—	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTW-RG8	配線ダクト(横)	1	1	1	1	1	2
	六角穴付平頭ボルト M6×15	2					
	ワイヤーステッカー	2					
IRGU-W0□□0	立上配線ダクト	1	1	1	1	1	1

7.組み立てかた

配線トレー付タイプ 基本セット

品 番：IRG-			セ ッ ト 数				
梱 包 品 番	部 品 の 種 類	個数	D1204□T	D1504□T	D1704□T	D1804□T	D2404□T
LTT-RG124	天板	1	1	—	—	—	—
LTT-RG154	天板	1	—	1	—	—	—
LTT-RG174	天板	1	—	—	1	—	—
LTT-RG184	天板	1	—	—	—	1	—
LTT-RG244	天板	1	—	—	—	—	1
LTF-RGCO□	エンド脚(R)	1	1	1	1	1	1
	エンド脚(L)	1					
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
	六角穴付平頭ボルト M6×65	4					
	穴ふさぎキャップ	8					
LTL-RGCO12	フレーム	1	1	—	—	—	—
LTL-RGCO15	フレーム	1	—	1	—	—	—
LTL-RGCO17	フレーム	1	—	—	1	—	—
LTL-RGCO18	フレーム	1	—	—	—	1	—
LTL-RGCO24	フレーム	1	—	—	—	—	1
LTC-RG125	配線トレー	1	1	—	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG155	配線トレー	1	—	1	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG175	配線トレー	1	—	—	1	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG185	配線トレー	1	—	—	—	1	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG245	配線トレー	1	—	—	—	—	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTW-RG8	配線ダクト(横)	1	1	1	1	1	2
	六角穴付平頭ボルト M6×15	2					
	ワイヤーステッカー	2					
IRGU-W0□□0	立上配線ダクト	1	1	1	1	1	1

こぼれ止め付タイプ 増連セット

品 番：IRG-			セ ッ ト 数				
梱 包 品 番	部 品 の 種 類	個数	J1204□K	J1504□K	J1704□K	J1804□K	J2404□K
LTT-RG124	天板	1	1	—	—	—	—
LTT-RG154	天板	1	—	1	—	—	—
LTT-RG174	天板	1	—	—	1	—	—
LTT-RG184	天板	1	—	—	—	1	—
LTT-RG244	天板	1	—	—	—	—	1
LTF-RGCOJ□	中間脚	1	1	1	1	1	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	12					
	六角穴付平頭ボルト M6×65	4					
	穴ふさぎキャップ	2					
	シムカード t0.2	10					
LTL-RGCO12	フレーム	1	1	—	—	—	—
LTL-RGCO15	フレーム	1	—	1	—	—	—
LTL-RGCO17	フレーム	1	—	—	1	—	—
LTL-RGCO18	フレーム	1	—	—	—	1	—
LTL-RGCO24	フレーム	1	—	—	—	—	1
LTC-RG124	こぼれ止め	1	1	—	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG154	こぼれ止め	1	—	1	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG174	こぼれ止め	1	—	—	1	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG184	こぼれ止め	1	—	—	—	1	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTC-RG244	こぼれ止め	1	—	—	—	—	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	4					
LTW-RG8	配線ダクト(横)	1	1	1	1	1	2
	六角穴付平頭ボルト M6×15	2					
	ワイヤーステッカー	2					
IRGU-W0□□0	立上配線ダクト	1	1	1	1	1	1

7.組み立てかた

配線トレー付タイプ 増連セット

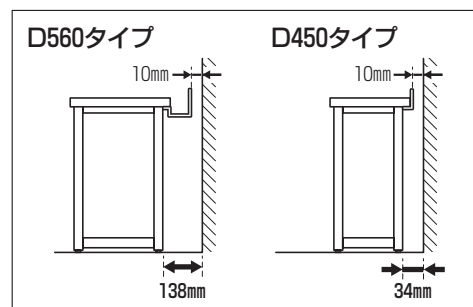
			セ ッ ト 数				
品 番：IRG-			J1204□T	J1504□T	J1704□T	J1804□T	J2404□T
梱包品番	部 品 の 種 類	個数					
LTT-RG124	天板	1	1	—	—	—	—
LTT-RG154	天板	1	—	1	—	—	—
LTT-RG174	天板	1	—	—	1	—	—
LTT-RG184	天板	1	—	—	—	1	—
LTT-RG244	天板	1	—	—	—	—	1
LTF-RGCOJ□	中間脚	1	1	1	1	1	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	12					
	六角穴付平頭ボルト M6×65	4					
	穴ふさぎキャップ	2					
	シムカード t0.2	10					
LTL-RGCO12	フレーム	1	1	—	—	—	—
LTL-RGCO15	フレーム	1	—	1	—	—	—
LTL-RGCO17	フレーム	1	—	—	1	—	—
LTL-RGCO18	フレーム	1	—	—	—	1	—
LTL-RGCO24	フレーム	1	—	—	—	—	1
LTC-RG125	配線トレー	1	1	—	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG155	配線トレー	1	—	1	—	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG175	配線トレー	1	—	—	1	—	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG185	配線トレー	1	—	—	—	1	—
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTC-RG245	配線トレー	1	—	—	—	—	1
	六角穴付平頭ボルト M6×15	6					
LTW-RG8	配線ダクト(横)	1	1	1	1	1	2
	六角穴付平頭ボルト M6×15	2					
	ワイヤーステッカー	2					
IRGU-W0□□0	立上配線ダクト	1	1	1	1	1	1

オプション

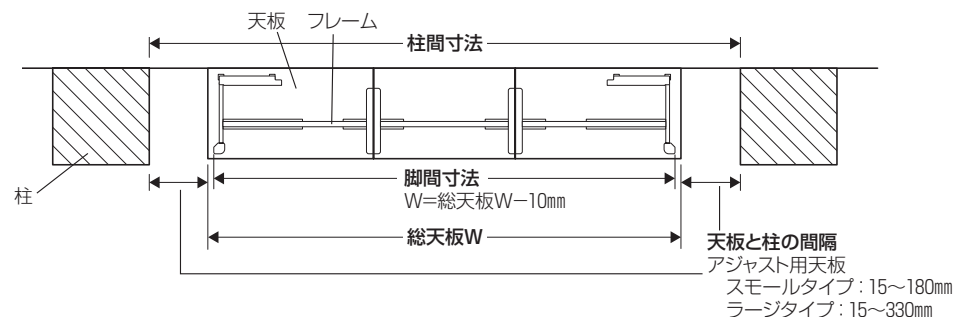
部 品 名	品 番	部 品 の 種 類	個数
幕板(基本セット・増連セット用共通)	LTPP-RG□□3	幕板	1
		幕板取付金具 (基本セット・増連セット用共通)	2
		六角穴付平頭ボルト M6×15	4
幕板用ブラケット(基本セット用)	LTPJ-RGD1	幕板用ブラケット(基本セット用)	2
		六角穴付平頭ボルト M6×15	4
幕板用ブラケット(増連セット用)	LTPJ-RGJ1	幕板用ブラケット(増連セット用)	1
		六角穴付平頭ボルト M6×15	2
幕板(アジャスト用)	LTP-RGA33	アジャスト用幕板	1
		幕板用ブラケット(アジャスト用)	1
		幕板取付金具(アジャスト用)	1
		六角穴付平頭ボルト M6×15	6
アジャスト用天板	LTAH-RGAT □□(L・R)	アジャスト用天板	1
アジャスト用天板ステー	LTAJ-RGAT1	アジャスト用天板ステー	1
		化粧ネジ M6×8	2
立上配線ダクト	IRGU-W0□□0	立上配線ダクト	1

4 設置位置の目安

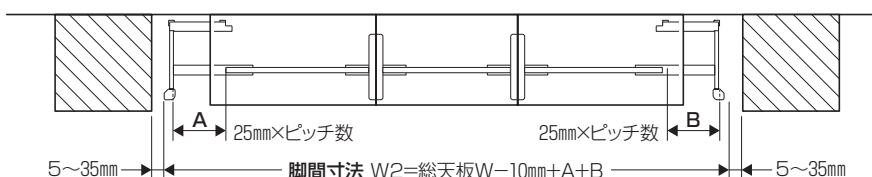
- 設置時に壁面などを傷つけないように10mm程すき間を設けてください。
- 柱間でアジャスト用天板を使用する場合、フレーム設置時の目安は下図を参照してください。



〈フレームを伸ばさない場合〉

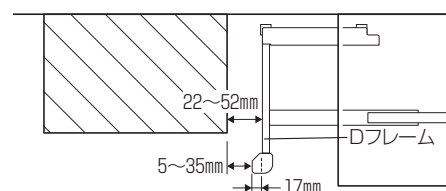


〈フレームを伸ばす場合〉



- 脚と柱の間隔が5~35mmになるよう、片側または両側のエンド脚を伸ばす長さ(25mmピッチ、最長片側300mm)を決めてください。
- エンド脚を伸ばす長さが決まったら、設定した柱からの間隔の位置にエンド脚を合わせて組み立ててください。

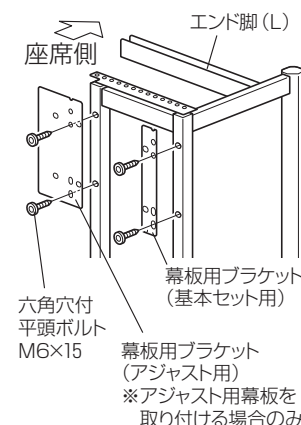
※柱が細くて前脚が柱から飛び出る場合は脚のDフレームとの距離を目安にしてください。Dフレームは前脚より17mm内側になります。



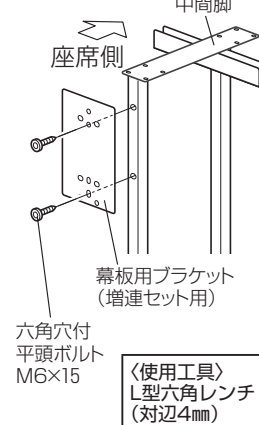
5 幕板用ブラケットの取り付け 〈幕板(オプション)を取り付ける場合のみ〉

エンド脚と中間脚にブラケットをボルトで固定してください。

エンド脚の場合



中間脚の場合



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺4mm)

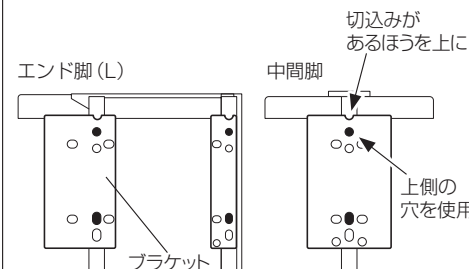
※エンド脚、ブラケットには左右の違いがありますが、要領は同じです。

ブラケットについて

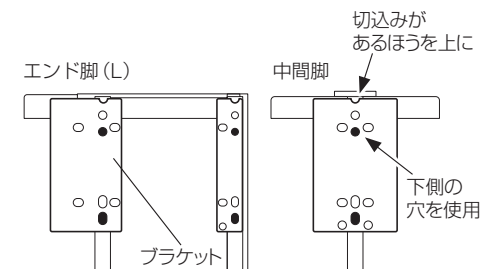
奥行き560mmのカウンターと、奥行き450mmのカウンターでは、ブラケットを取り付ける位置と使用するブラケットの取付穴が異なります。

●……ボルトの固定位置

奥行き560mmのカウンター(配線トレー付き)の場合



奥行き450mmのカウンター(こぼれ止め付き)の場合

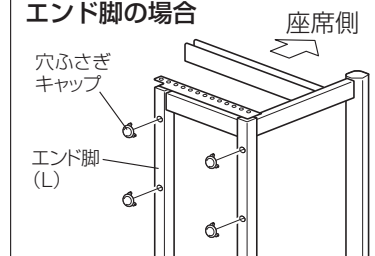


〈ご注意〉

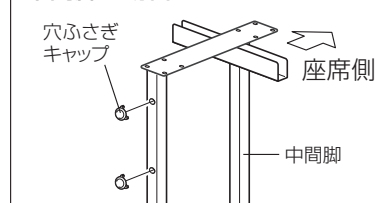
ブラケットには天地・左右があります。向きに注意して取り付けてください。

幕板(オプション)を取り付けない場合
エンド脚と中間脚の取付穴に穴ふさぎキャップを取り付けてください。

エンド脚の場合



中間脚の場合



6 脚フレームの連結

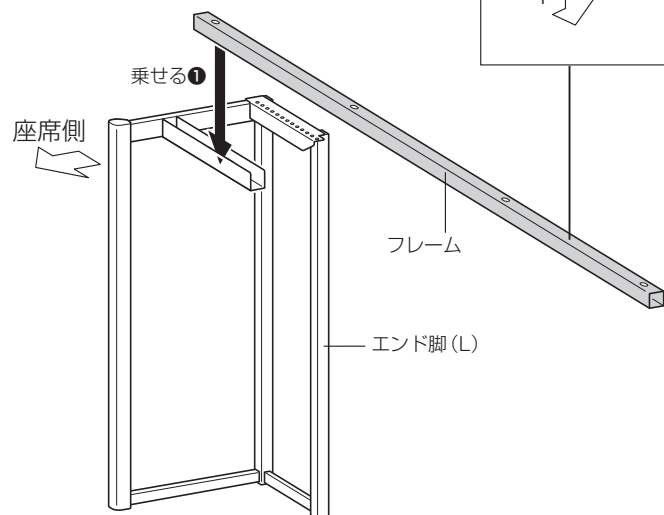
⚠ 注意

増連セットの奥行き450mmのカウンターで、幕板を付けて壁際に設置する場合は、幕板を組んだ状態(32ページ参照)で、脚フレームの連結の前に幕板を壁際に置いてください。

1.エンド脚とフレームの連結

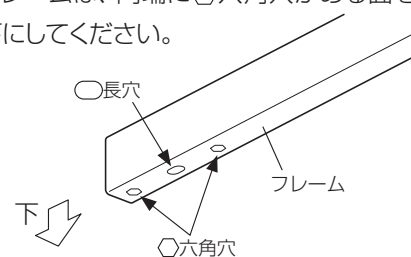
※図はエンド脚(L)の場合です。エンド脚(R)の場合も左右の区別がありますが、要領は同じです。

1. エンド脚 (L) のフレーム受け金具にフレームを乗せてください。



〈ご注意〉

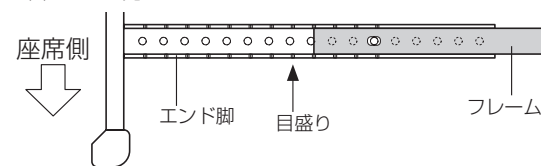
フレームは、両端に六角穴がある面を下にしてください。



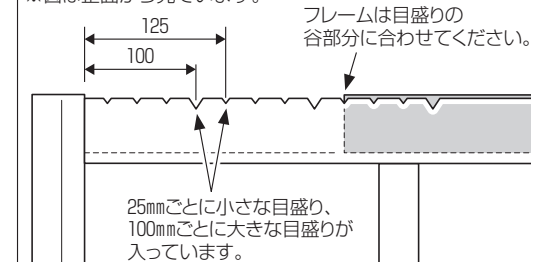
2. フレームをスライドさせて取付穴位置まで移動させてください。

フレームは、延長する長さに応じて、エンド脚の目盛りに合わせて移動させてください。

※図は上から見ています。



※図は正面から見ています。



5~35mm
あける

座席側

②

延長する長さに応じてフレームをスライド

フレームは、柱間に応じて長さを調整することができます。

天板を柱間にフィットさせて設置する際は、アジャスト用天板（オプション）を取り付けます。

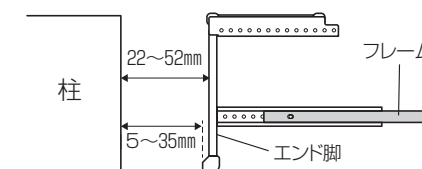
(25mmピッチ、最長片側300mm)

※スモールタイプのアジャスト用天板を取り付ける場合は最長150mm)

〈ご注意〉

- 柱間にフィットさせる場合は柱間寸法を測定してください。（柱間寸法については②1ページ④をご参照ください。）
- エンド脚と柱の間隔は5～35mmになるようにしてください。

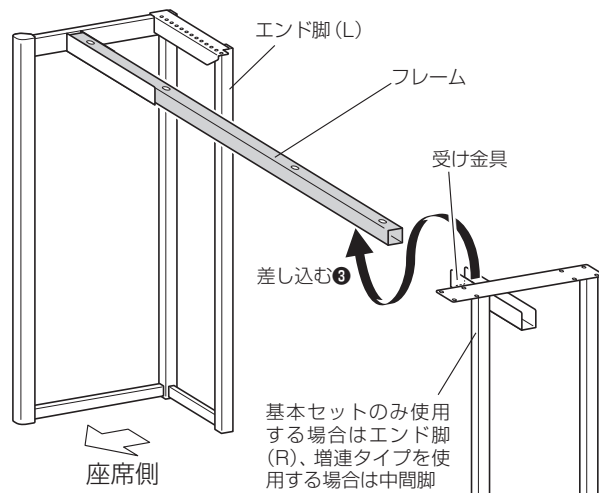
※上から見た場合



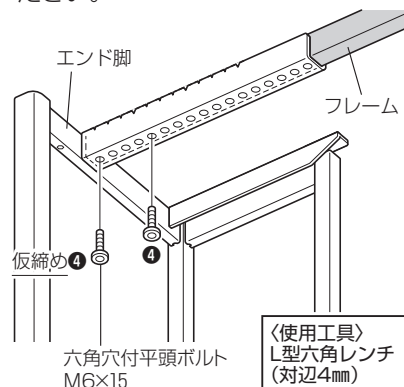
7.組み立てかた

3.基本セットのみ使用する場合は
エンド脚 (R)、増連タイプを
使用する場合は中間脚の受け金具
を、フレームの反対側に差し込
んでください。

※図は増連タイプを使用する場合
(中間脚)です。

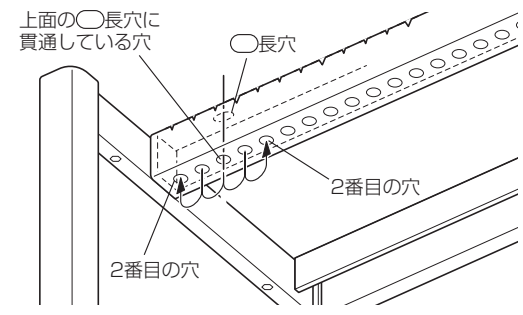


4.フレームとエンド脚の取付穴を
合わせてボルトで仮締めしてく
ださい。



〈取付穴の確認〉

フレームを下から見て、上面の○長穴に貫通し
ている穴を確認してください。その穴から左右
それぞれ2番目の穴が取付穴になります。



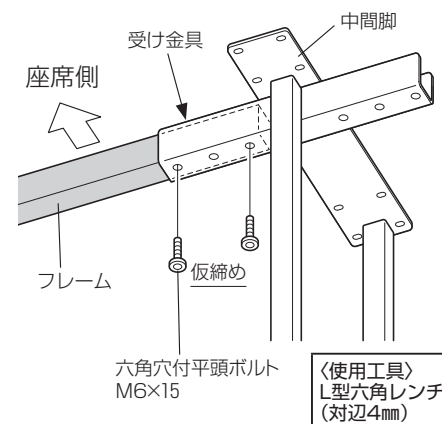
5.基本セットのみ使用する場合

「1」「2」「4」の要領で、エンド脚
(R) とフレームをボルトで仮締
めしてください。

※増連セットを使用する場合は、次ページ「2.フ
レームと中間脚の連結 (増連セットを使用する
場合)」に進んでください。

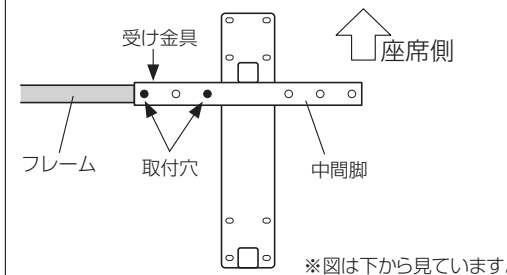
2.フレームと中間脚の連結 (増連セットを使用する場合)

②ページ「3」で差し込んだ中間脚とフ
レームの取付穴を合わせてボルトで仮
締めしてください。



〈取付穴の確認〉

中間脚の受け金具の3つの穴の、1番目・3番
目の穴が取付穴です。



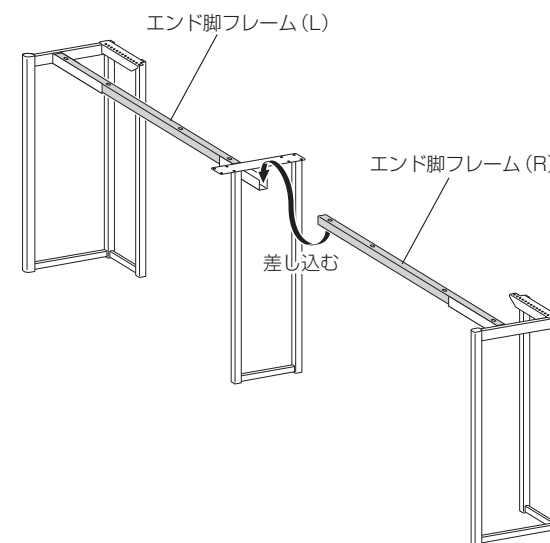
※増連セットを1つ使用する場合は②ペー
ジ「3.増連セットを1つ使用する場合」に、
2つ以上使用する場合は②ページ「4.増連
セットを2つ以上使用する場合」に進んで
ください。

3.増連セットを1つ使用する場合

1.②ページ「1.エンド脚とフレームの連
結」の要領で、エンド脚フレーム (R)
を組み立ててください。

2.エンド脚フレーム (L) にエンド脚フ
レーム (R) の中間脚の受け金具を差
し込んでください。

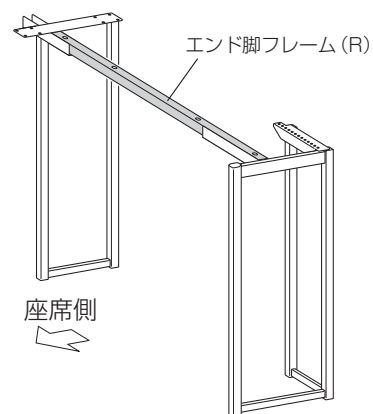
3.②ページ「2.フレームと中間脚の連結
(増連セットを使用する場合)」の要
領で、中間脚とエンド脚フレーム (R)
をボルトで仮締めしてください。



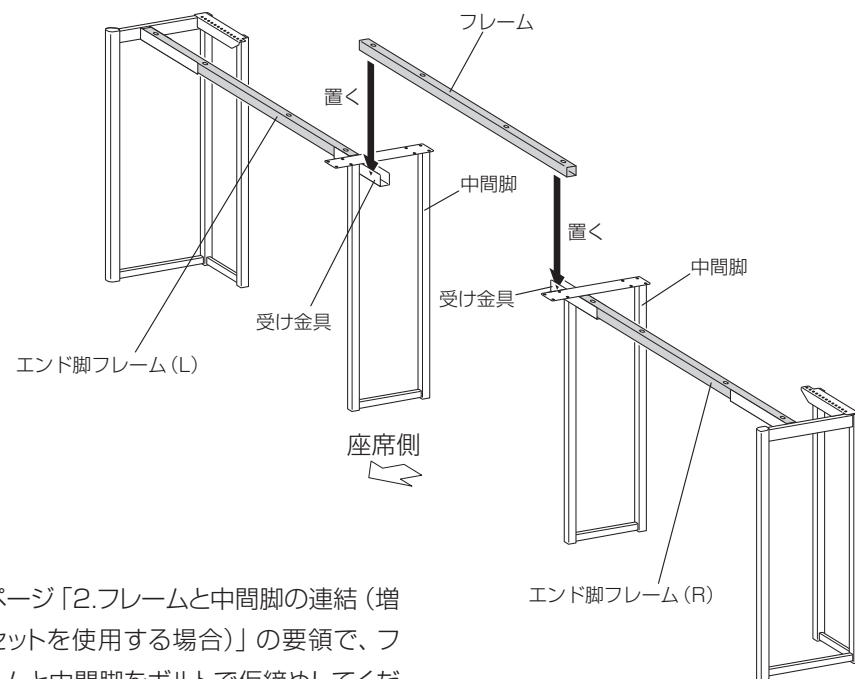
7.組み立てかた

4.増連セットを2つ以上使用する場合

- 1.㉓ページ「1.エンド脚とフレームの連結」の要領で、エンド脚フレーム (R) を組み立ててください。



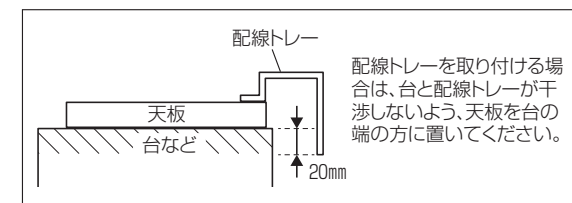
- 2.連結した左右のエンド脚フレームの中間脚の受け金具にフレームを置いてください。



- 3.㉔ページ「2.フレームと中間脚の連結 (増連セットを使用する場合)」の要領で、フレームと中間脚をボルトで仮締めしてください。

7 配線トレイ・こぼれ止めの取り付け

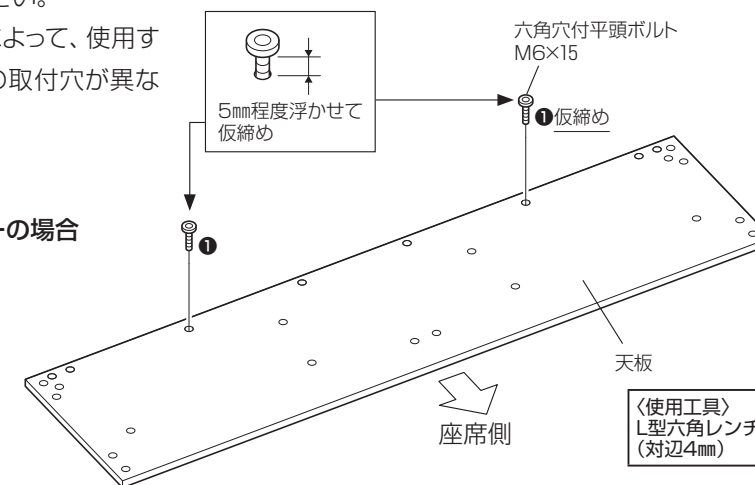
- 1.天板を台など安定したところに図のように天板を裏返しにして置いてください。



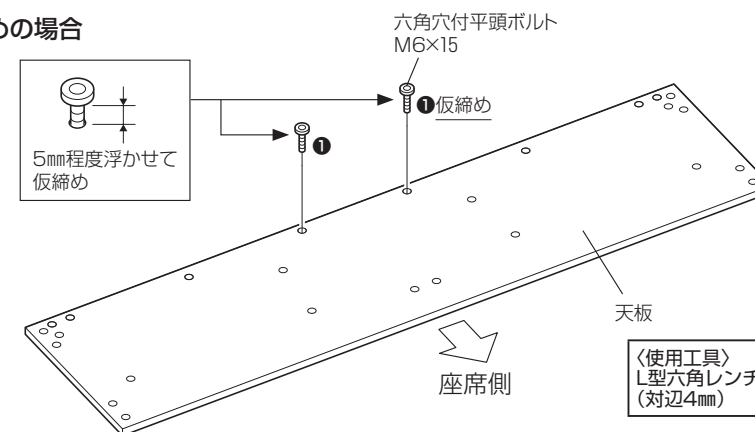
- 2.配線トレイ・こぼれ止めの位置合わせのガイドになるボルトを天板に5mm程度浮かせた状態になるよう仮締めしてください。

※取り付けるものによって、使用するボルトの天板の取付穴が異なります。

配線トレイの場合



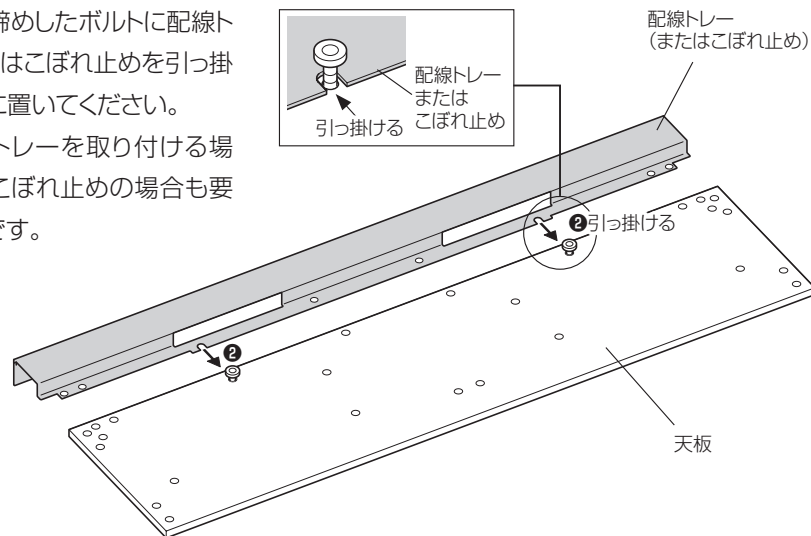
こぼれ止めの場合



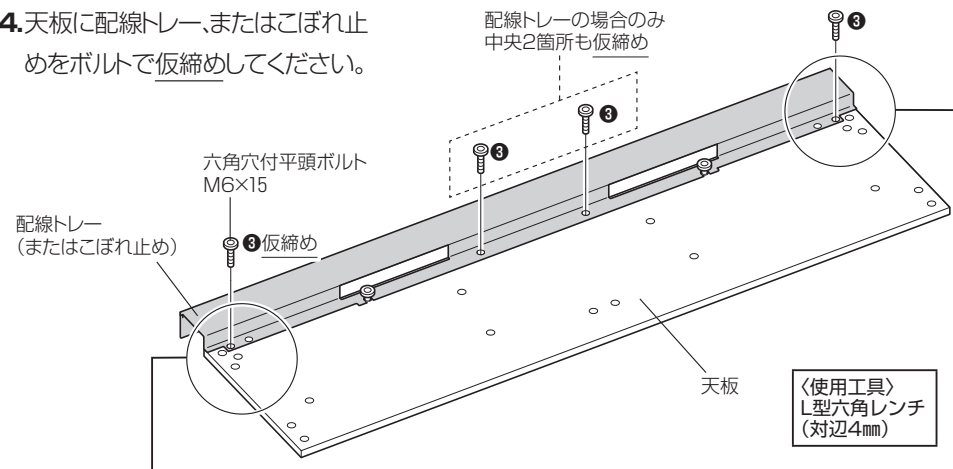
7.組み立てかた

3.「2」で仮締めしたボルトに配線トレー、またはこぼれ止めを引っ掛けて天板に置いてください。

※図は配線トレーを取り付ける場合です。こぼれ止めの場合も要領は同じです。



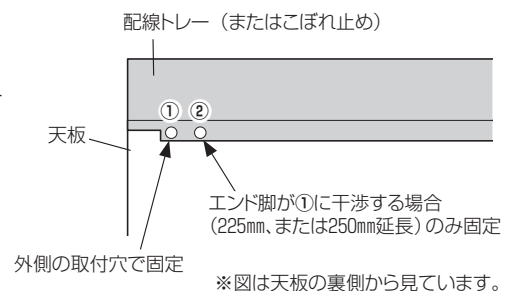
4.天板に配線トレー、またはこぼれ止めをボルトで仮締めしてください。



両端の取付穴について

①の取付穴を使用して固定してください。
②の取付穴はエンド脚を225・250mm延長する場合のみ使用します。

※エンド脚が①の取付穴に干渉するため

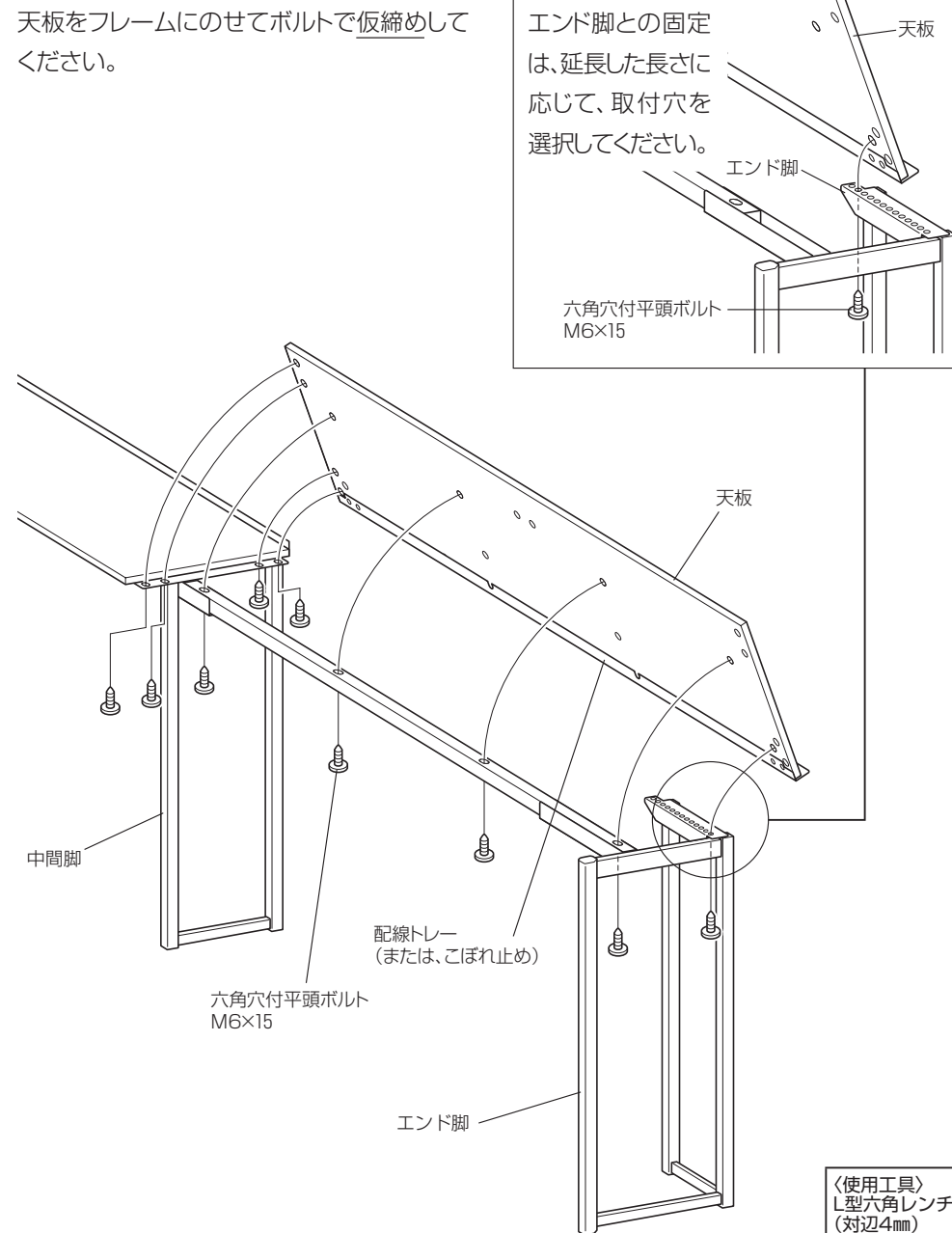


8.天板の取り付け

天板をフレームにのせてボルトで仮締めしてください。

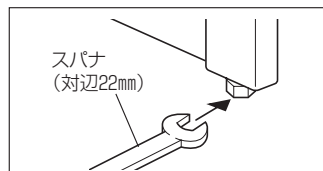
アジャスト天板をつける場合

エンド脚との固定は、延長した長さに応じて、取付穴を選択してください。

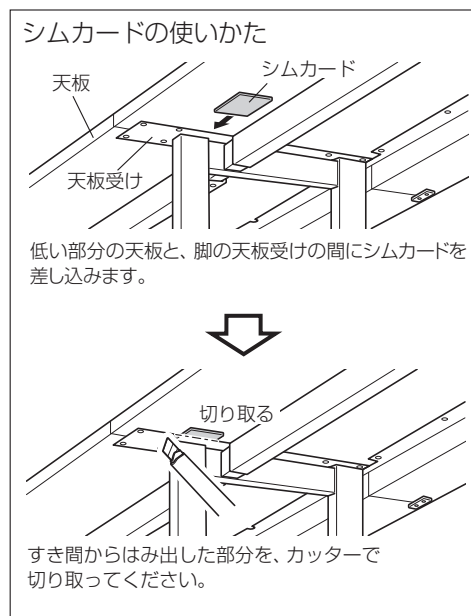


⑨ フレームと天板の本締め

- 1.各フレームのそろいを確認し、フレームを本締めしてください。
- 2.全体のレベルを確認し、あっていないときはアジャスターを調節してください。



- 3.天板のそろいを確認してください。
※そろわない場合は、天板と脚の天板受けの間にシムカードを差し込み、高さを調整してください。
- 4.天板とフレームの連結、天板どうしの連結のボルトを本締めしてください。
- 5.配線トレイ、またはこぼれ止めのそろいを確認し、ボルトを本締めしてください。



⑩ 幕板(オプション)の取り付け (幕板を取り付ける場合のみ)

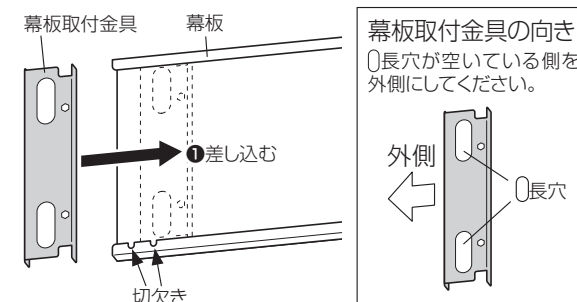
1.幕板取付金具の取り付け

- 1.幕板に幕板取付金具を差し込んでください。

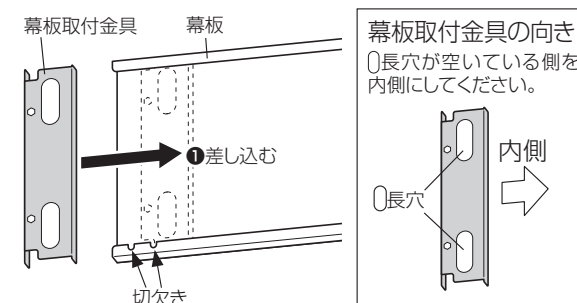
〈ご注意〉

- 幕板取付金具はエンド部のアジャスト用幕板のあり・なし、中間部で、取り付ける向き異なります。それぞれの向きを確認してください。
 - 幕板は切欠きがある方を下にしてください。
- 2.幕板の反対側も「1」と同じ要領で、幕板取付金具を差し込んでください。

エンド部(アジャスト用幕板を使用しない場合)

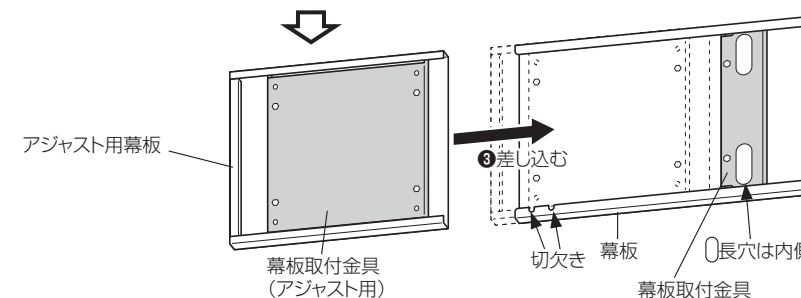
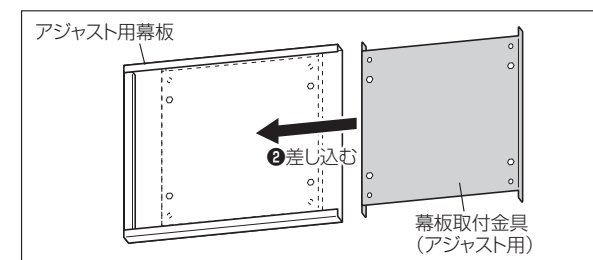


エンド部(アジャスト用幕板を使用する場合)・中間部



3.アジャスト用幕板を使用する場合のみ

アジャスト用幕板に幕板取付金具(アジャスト用)を差し込み、そのアジャスト用幕板をエンド部に使用するの幕板に差し込んでください。



7.組み立てかた

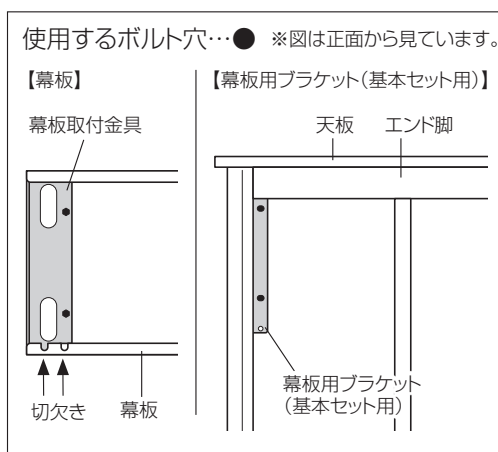
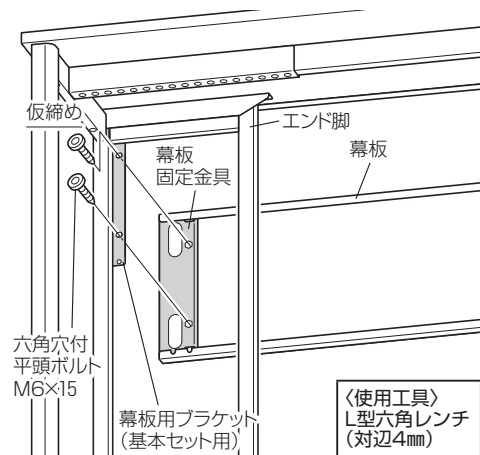
2.本体への取り付け

- 幕板取付金具と幕板用ブラケットの穴位置を合わせて、ボルトで仮締めしてください。

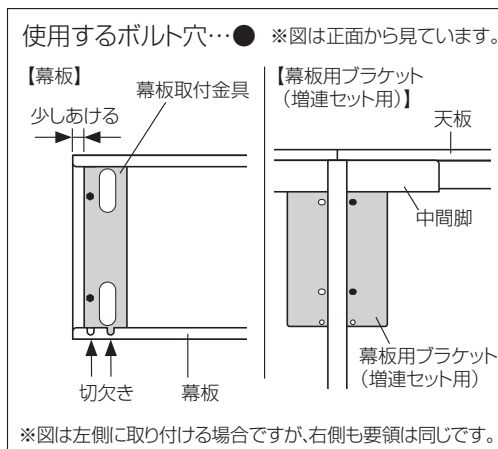
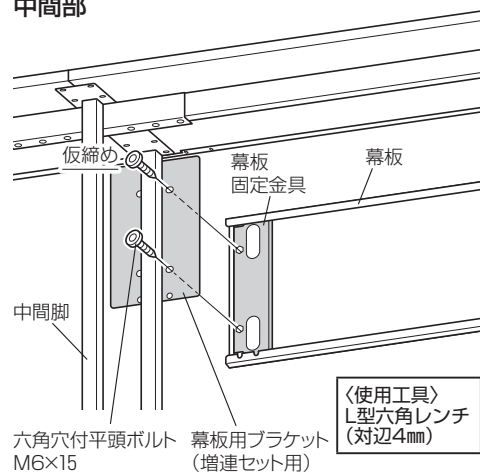
〈ご注意〉

エンド部のアジャスト用幕板のあり・なし、中間部で、使用する取付穴が異なります。図を参考に使用する取付穴を確認してください。

エンド部 (アジャスト用幕板を使用しない場合)

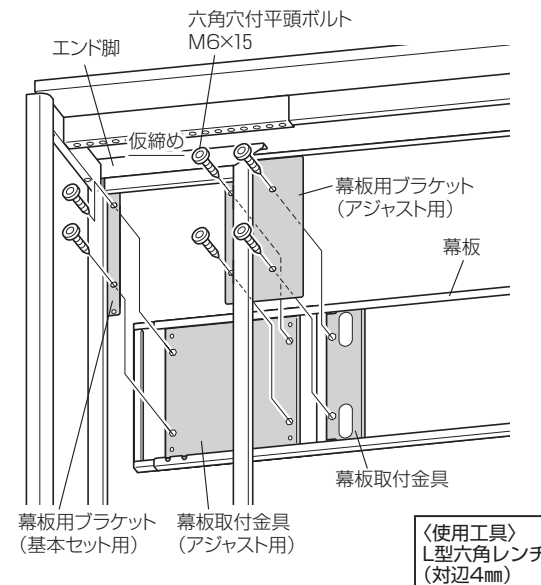


中間部

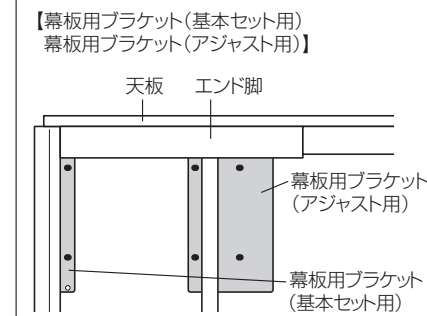
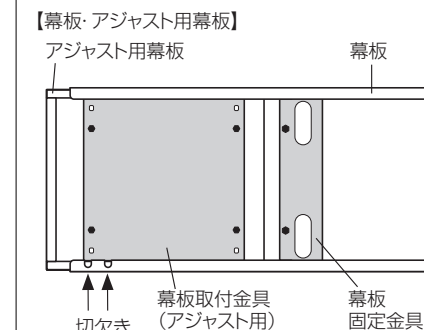


エンド部 (アジャスト用幕板を使用する場合)

アジャスト用幕板をスライドさせて、幕板用ブラケット (アジャスト用) と穴位置を合わせ、ボルトで仮締めしてください。



使用するボルト穴... ●
※図は正面から見ています。



- 反対側も「1」と同じ要領で、幕板取付金具と幕板用ブラケットをボルトで仮締めしてください。

7.組み立てかた

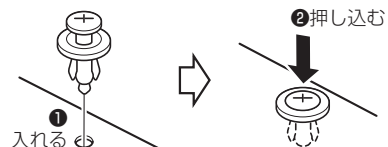
3.エンド部（アジャスト用幕板を使用しない場合）と、中間部のみ

幕板と幕板取付金具を樹脂リベットで固定してください。

〈ご注意〉

場所によって、使用する幕板の切欠き部が異なります。図を参考に使用する切欠きを確認してください。

樹脂リベットの入れかた



3.幕板の本締め

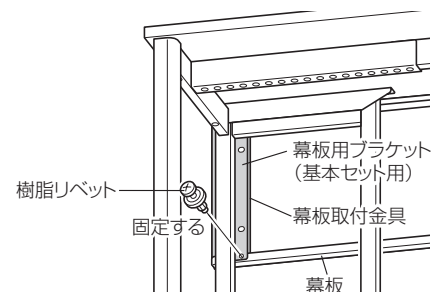
1.幕板のそろいを確認してください。

2.エンド部（アジャスト用幕板を使用しない場合のみ）

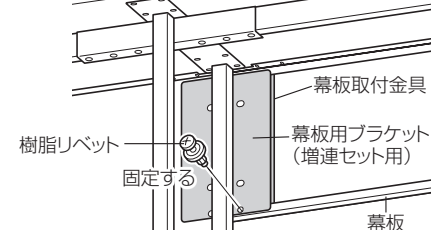
幕板取付金具が幕板からはみ出していないことを確認してください。はみ出している場合は、幕板取付金具を幕板に収納してください。

3.幕板のボルトを本締めしてください。

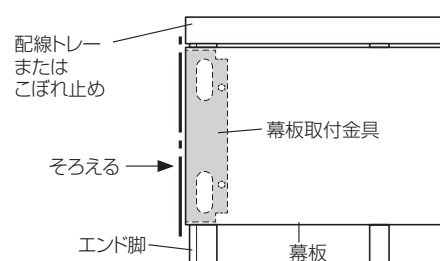
エンド部(アジャスト用幕板を使用しない場合)



中間部



エンド部(アジャスト用幕板を使用しない場合)

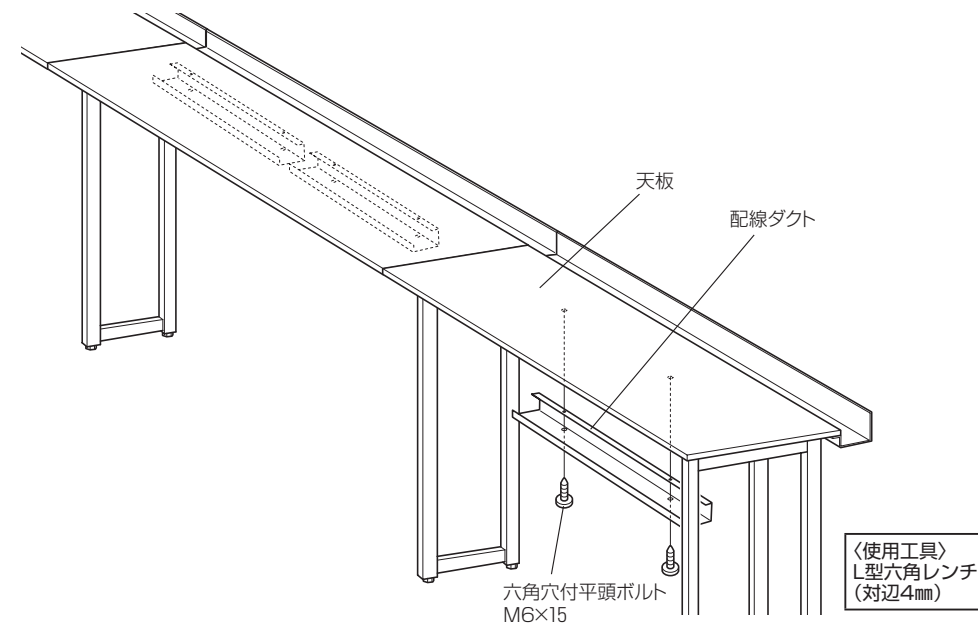


※図は背面から見えています。

11 配線ダクトの取り付け

配線ダクトを天板にボルトで固定してください。

※W2400の天板には2個、その他の天板には1個取り付けます。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

12 アジャスト用天板(オプション)の 取り付け

⑧ページ「4 アジャスト用天板(オプション)
の取り付けかた」を参照して、天板にアジャ
スト用天板を取り付けてください。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがな
いか確認してください。